

釜石市 中妻地区
自主防災組織育成・活性化支援事例報告

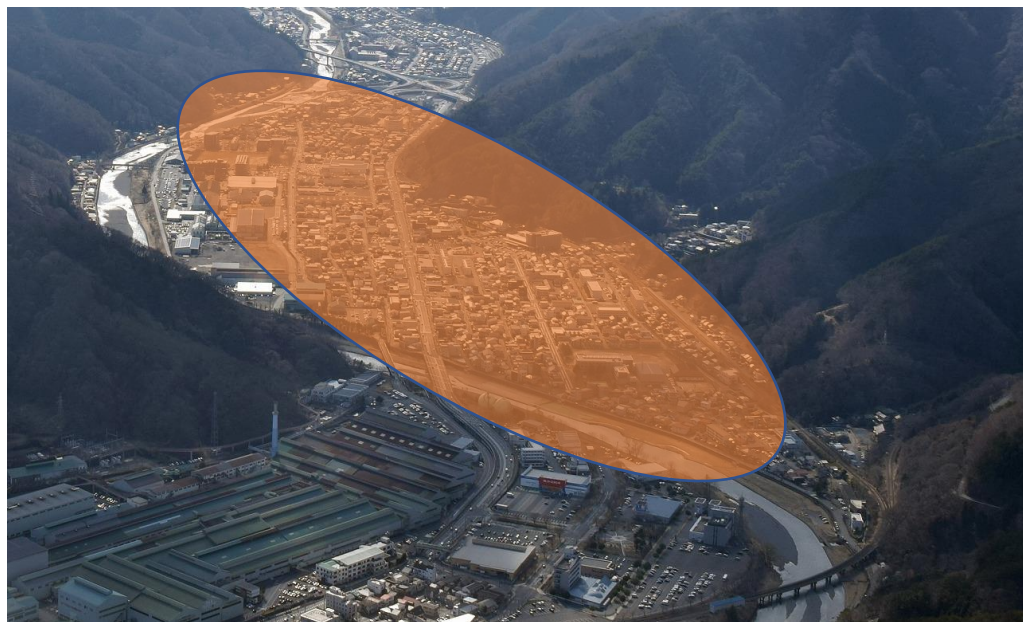
釜石市・岩手大学地域防災研究センター

1 地域の特徴

中妻地域は、釜石地域の西隣に位置する市街地で、平坦地は、中央部を国道が通り、住宅地のほか商業地、工場、官公署等が立地し、労働、買い物、食事、通院、諸手続等の目的で市内他地域との人の行き来が多い地域である。

また、三陸縦貫自動車道のICがあり、釜石市の中心部への玄関口として、交通の要所となっている。

一方で、大雨時には各沢々の出水が道路上に溢れ、低地に集中することで、しばしば冠水する地区もある。





中妻地区生活
応援センター

双葉
小学校

県釜石合庁・
IC乗り入れ口

釜石警察署

八雲神社
大天場

釜石中学校

日本製鉄
釜石

国道283

2. 《地域の特色を踏まえた主要な課題》

- 安全、安心のまちづくり（※犯罪、交通事故、生活環境整備）
- 見守り、支え合いの充実（※福祉課題（独居、災害弱者、健康不安、居場所）対応）
- 地域防災力の向上・防災対策

《取組み》

【自助】

- 各種活動への自主的な参加
（※町内会、地域交流活動、サロン、
公民館事業等）
- 隣近所への声掛け
- 防災意識の向上（※避難訓練への参加、避難場所の確認）

【共助】

- 様々な機会の企画、運営
- 自主活動グループ、ボランティア組織の結成
- 見守り、災害弱者への支援

【公助】

- 広報、啓発活動
- 自主活動グループ、ボランティア組織の結成支援
- 相談機会の創出、関係機関との連携
- 地域課題解決への支援



中妻地区地域会議が組織されており、自治会、商店会、学校など33団体でこれらの課題について協議、対応してきた。

中妻地区地域会議

議長：佐藤力

副議長：永澤光雄・金澤祥記

構成委員：33名

1	千鳥町町内会	10	皆輪町内会	19	住吉町町内会	28	上中島2期復興公営住宅自治会
2	中妻北町内会	11	中妻さざなみ町内会	20	上中島商店会	29	釜石市立双葉小学校（顧問）
3	中妻1丁目東町内会	12	上中島弥生会	21	中妻中央通商店会	30	釜石市立釜石中学校（顧問）
4	中妻町内会	13	上中島4丁目町内会	22	中妻北商店会	31	水野昭利 市議会議員（顧問）
5	八雲地区親交会	14	源太沢親交会	23	双葉小学校 P T A	32	深澤秋子 市議会議員（顧問）
6	八雲睦会	15	源太沢むつみ会	24	中妻南地区防犯会	33	川嶋昭司 市議会議員（顧問）
7	八雲協力会	16	源太沢新生会	25	上中島児童館		
8	八雲双葉会	17	源太沢あゆむ会	26	中妻北地区コミュニティ消防センター		
9	富士見台町内会	18	新町町内会	27	上中島1期復興公営住宅自治会		

3 地域概要：世帯数、人口（令和3年3月末現在） ●3区分人口（単位：人）

◀高齢化率39.17%（参考：市内39.95%）▶

※市 2915 1449 1466 16024 8419 7785 12721 5250 7471

4 町毎の世帯数・人口（単位：世帯・人）

復興公営住宅の概要

- 上中島Ⅰ期復興公営住宅（平成25(2013)年4月供用開始）54戸 （入居率：48/54=88.8%（3.4.1現在））
- 上中島Ⅱ期復興公営住宅（平成27(2015)年4月供用開始）156戸 （入居率：130/156=83.3%（3.4.1現在））
 （2号棟：鉄骨造8階建79戸、3号棟：鉄骨造5階建38戸、4号棟：鉄骨造3階建18戸、5号棟：鉄骨造3階建21戸）

世帯数 (単位：世帯)	地域会議内人口（単位：人）		
	計	男	女
2,018	3,812	1,785	2,027

0～14歳			15～64歳			65歳以上		
計	男	女	計	男	女	計	男	女
345	170	175	1974	1043	931	1493	572	921

町・丁目・地割	令和3年3末日現在				令和2年3末日現在				平成31年3末日現在			
	世帯数	人口			世帯数	人口			世帯数	人口		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計
千鳥町 1丁目	115	90	102	192	118	95	107	202	131	105	121	226
2丁目	16	14	14	28	16	14	15	29	21	19	15	34
中妻町 1丁目	341	302	357	659	358	323	385	708	373	339	414	753
2丁目	315	287	296	583	319	295	298	593	336	320	317	637
3丁目	178	163	172	335	181	167	177	344	191	184	183	367
八雲町	130	114	126	240	142	125	130	255	146	124	141	265
上中島町 1丁目	37	33	39	72	44	34	47	81	43	32	47	79
2丁目	144	96	157	253	157	110	179	289	161	121	183	304
3丁目	25	23	35	58	31	30	34	64	36	35	38	73
4丁目	282	259	320	579	303	279	354	633	306	284	360	644
源太沢町 1丁目	151	139	142	281	163	144	154	298	171	156	160	316
2丁目	100	106	89	195	108	113	96	209	110	116	102	218
住吉町	47	43	41	84	51	48	47	95	57	53	50	103
新町	83	73	78	151	88	75	85	160	85	74	86	160
礼ヶ口町	54	43	59	102	56	45	64	109	59	49	68	117
合計	2018	1785	2027	3812	2,135	1,897	2,172	4,069	2226	2011	2285	4296



中妻地区生活
応援センター

双葉
小学校

県釜石合庁・
IC乗り入れ口

釜石警察署

八雲神社
大天場

釜石中学校

復興公営
住宅

日本製鉄
釜石

国道283

(1) 地域会議の目的

安全で、安心して暮らせる地域づくりのため、地域と行政が一体となって地域の課題を自助、共助、公助の協働によって、問題を考え、解決策を見出し、協力して実行すること。

(2) 事業内容

①地域課題の解決要望

自分たちで解決困難な地域課題について、関係機関に課題解決を要望。

②中妻地区地域会議の開催

地域課題の解決について、市と意見交換するため、地域会議を開催。

☞地域だけで解決できない課題について市や関係機関の協力を得ながら対応

③安全・安心地域づくりの活動

安全で、安心して暮らせる地域づくり、特に子供や高齢者を意識した安全対策や防犯対策を実施。

- ・LED街路灯設置事業
- ・中妻地区見守り隊運営

④住みよい地域づくりの活動

町内会が行う生活環境整備への支援を行う。(1団体：20千円)

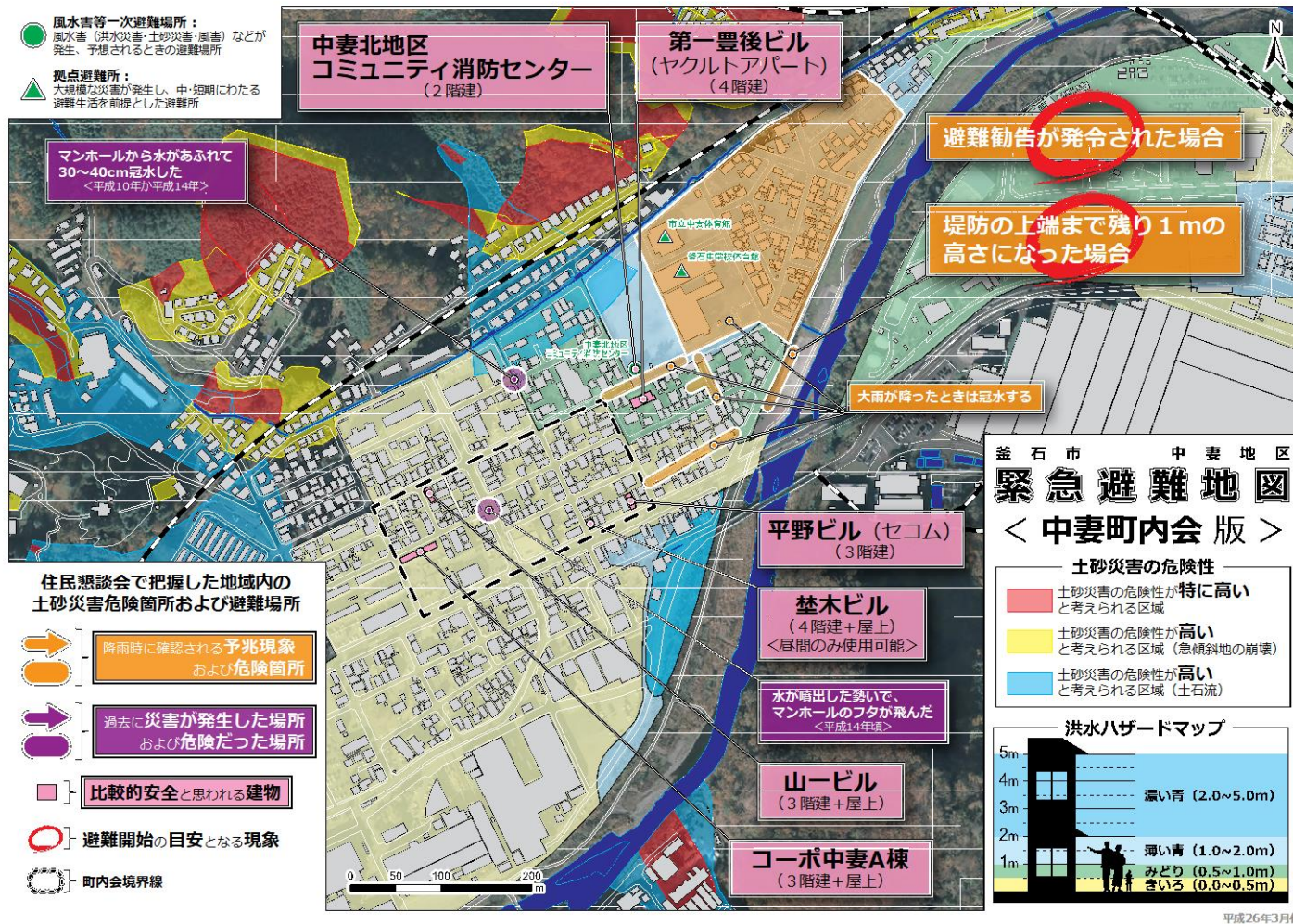
- ・生活環境整備事業

⑤交流促進の活動

地域の方々の交流を促進する事業の実施。

⑥防災に向けた動き

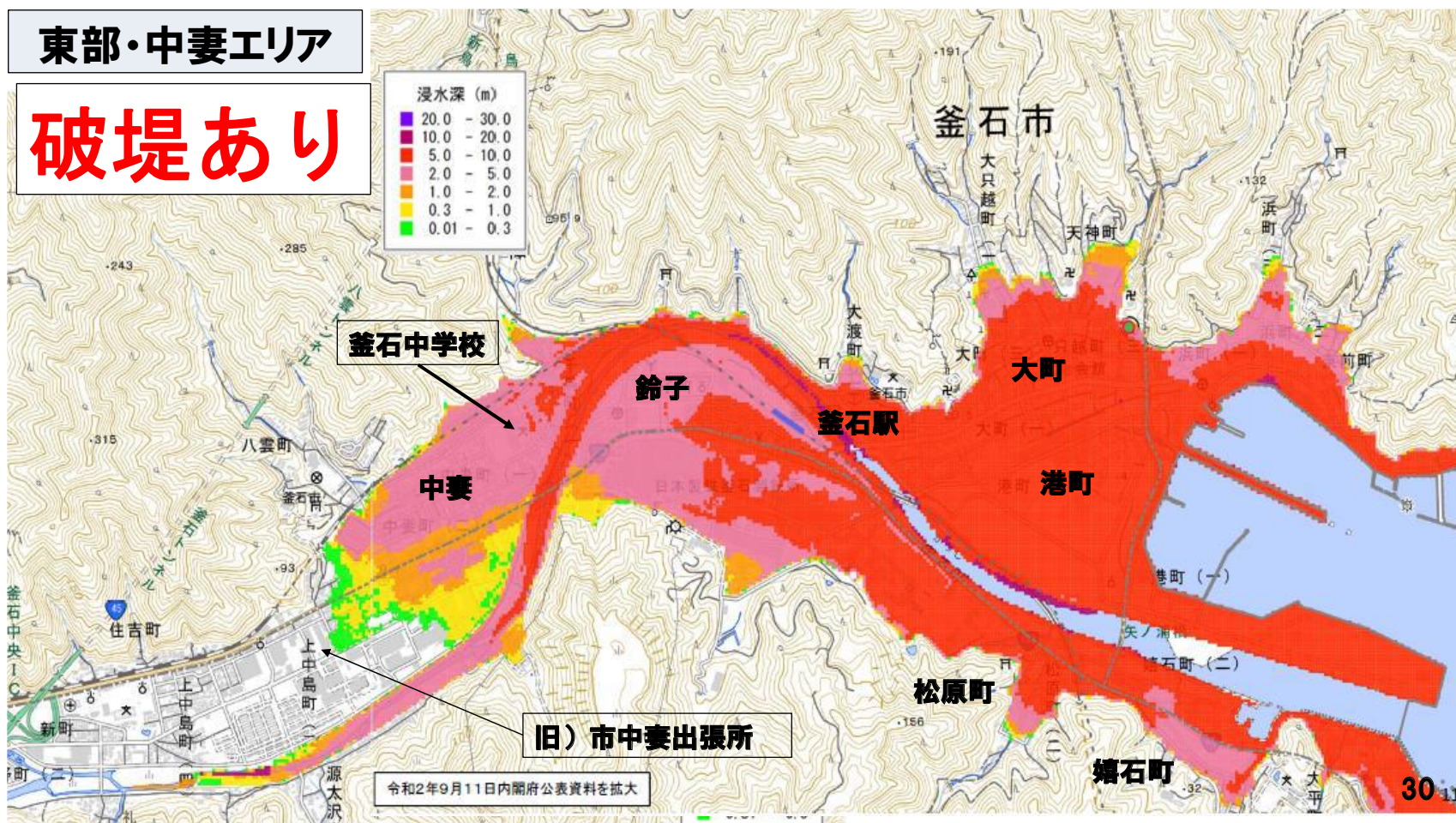
- 洪水・土砂災害緊急避難地図の作成（平成25年・26年：住民参加型）



※実際に、R1台風19号浸水時の写真があれば追加したいので、お持ちならください！！

⑥防災に向けた動き

- 令和2年度秋に「日本海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定」が示され、中妻町から千鳥町までの4町内会で「自主防災への取組み」の動きが出てきた。



⑥防災に向けた動き

- 令和2年度秋に「日本海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定」が示され、中妻町から千鳥町までの4町内会で「自主防災への取組み」の動きが出てきた。
- 第1に、自主防災組織を結成しようという動き
⇒ 中妻北町内会の組織化を参考とし、中妻町内会、中妻東町内会、千鳥町町内会も結成していくことを確認。現在、3町会は結成を検討中。
- 第2に、避難方向を決めようとする動き
⇒ 各町内会で避難方向の検討。センター会議で各町内会の検討結果を共有。広く意見を聞きながら、取りまとめ、住民周知を図っていく予定。併せて、R3.9の避難訓練を目標にしている。
- 第3に、避難要支援の方の把握と地図作成、地域で共有に向けてとりくんでいる。

⑦地域住民（老人）の様子

- コロナ禍の中ではあるが、自主グループの活動、公民館活動への参加など、できている。
- マスク着用、検温実施は、根付いてきている。

【現状：地域診断】

- 被災により各地域から転居してきた方、道路用地を提供して移転してきた方など、様々な事情のある方が共生する地域である。
- 町内会が無い地区が多い。
- 高規格道路のインターチェンジが開通することにより、これまでと違った地域の魅力が発見できる可能性を秘めている。
- 市内全域からみると、スーパー、病院、学校など生活に必要な施設があり、公共交通も整備されている。
- 健康な時は良いが、運転免許の返納や身体状況が悪くなった場合の不安は多くある。
- 町内会等の担い手不足をどう克服し維持発展させていくかが課題である。
- 復興公営住宅など一部の方々はつながりがあるが、基本的には隣近所の付き合いはだんだん薄れている。
- いまは元気だが、将来認知症や病気になったとき、さらに一人暮らしになったときなど、どうなるか不安なことが多い。（食事のこと、買い物等）

【具体的事業の目標と実施内容】

【地域マネジメントへ（PDCAサイクル）むけての検討点】

- ・ 8-2 住民が主体的にやることの行政側の応援体制
- ・ 地図情報と地区カルテの情報を整理し、地域資源を羅列ではなく活用しやすい情報へと整理する（たとえば地域資源MAPをつくる）
- ・ 住民とのWSや進捗報告会などを定期的実施することで、住民のモチベーションを維持する
- ・ 2025年の将来像と地区診断の更新（1年目が終了したところで、数値目標等を住民と議論するとよい。）
- ・ 行政、医療介護専門職等へもこの結果を共有していく。地域ケア会議、多職種連携会議などで報告し、連携できそうな部分について議論する。
- ・ 地縁組織等へのこの結果を報告し、記載内容についての過不足を補うなどしながら、地域診断の結果と目標について理解を深めていただく（合意形成）
- ・ 本地区診断結果への理解を行政内部で広げていく。各種計画等でも目標・取組内容等を記載する。

	目標（数値など具体的に）	実施内容
1	青空カフェの開催（年5回開催）	軽い運動と歌 健康ミニ講座（介護保険・認知症・社協の活動など）お茶会と意見交換
2	健康づくりの集い（年10回開催）	様々なメニューの企画を実施 吹き矢体験、ウォーキング、ゆるっと体操、スマホ操作、脳トレゲーム
3	屋内ミニ運動会（年1回）	多世代間交流の場として、ミニ運動会を開催する。